

🍎 新規就農しました! 🍇



やまぎし ともき
山岸 朋輝さん
(横倉)

今年度から新規就農されました山岸朋輝さんの紹介をします。

山岸さんは農業大学を卒業後、長野県果樹試験場の職員として3年勤め就農されました。篤農家である山岸家は、高品質なリンゴやプラムを生産されています。朋輝さんは、特にリンゴに力を入れて販売していきたいそうです。

私が話を伺った印象は、芯の通った考えを持った好青年でした。皆さんと仲良くやっていきたいそうですので、見かけたら声をかけてください。

(齊藤蝶次郎 農業委員)



すみの なぎさ
角野 渚さん
(宇木)

宇木の角野渚さんを紹介します。

以前、農業委員会だより第72号にて紹介した角野星矢さんのパートナーとして愛知県より移住。前職では事務やインテリア・服等の販売をしていましたが、星矢さんの「長野でブドウを作りたい!」という思いを聞き、渚さん自身も畑に興味があり一緒に就農となりました。

「宇木のリンゴはおいしい」と笑顔で語る渚さん。美味しくてまた食べたくなる果物作り、そして人や環境に優しい選択をしていきたいと抱負をいただきました。ご家族力をあわせて、これからも頑張ってください。

(渡辺輝子 農業委員)



せき きよたか
関 清隆さん
(宇木)

関清隆さんを紹介します。

年齢は43歳、上条生まれの奥様とお子さんがいらっしゃいます。以前は、塗料・塗装業に必要な資材等を営業・販売される会社にお勤めでした。きっかけは色々あったとのことですが、奥様の実家が農家でリンゴ・モモ・ブドウを栽培されており、自分たちの両親含め家族が平穏に生活していける方法を考え、この道に進まれたとのこと。大変しっかりと、またやさしい言葉をいただきました。

今は農作業の経験を積み、師匠である義父の負担を減らせるよう修行に励みたいとのこと。また、周りの華やかなことに惑わされず地に足をつけて、家族が日々穏やかに笑顔で生活できるよう精進していきたいと言葉を結ばれました。笑顔の素敵な関さんでした。

(山口剛 農業委員)

農業委員会だより

編集 農業委員会広報部会

第74号



米・食味分析鑑定 受賞!!

コンクール国際大会

国内外のお米を一堂に集め、米の安全性や良食味を求めて「良質な米作り」に精進する生産者を支援し、これを認めることを目的に開催される同コンクールにおいて、町から下記のとおり受賞されました。

部 門	賞	氏 名
国際総合部門	金 賞	布施谷 裕泉 (山ノ内米研究会)
	特別 優秀賞	小林 貴、上田 哲 (山ノ内米研究会)
小学校部門	金 賞	山ノ内町立 東小学校5年生
	特別 優秀賞	山ノ内町立 西小学校5年生



農業委員会 可決案件数		7月	8月	9月	10月	11月	12月
農地法第3条	売 買	1	1	1	2	3	1
	競 売					1	
	贈 与			3		1	
	使用貸借		1	1		1	
農地法第4条					1		
農地法第5条	賃 貸 借	1					
	売 買		4	1	2		
農業経営基盤強化 促進法 第18条第1項	貸 借	7	8	1	2	3	12
	売 買		2	1	1	6	2

あとがき



令和五年新年がスタートして早々に、十年に一度と言われる最強寒波到来とのニュースが報道されました。二〇二二年も世界的な気候変動があり、脱炭素化の波が加速しました。また、二〇二二年一月から十月の出生数は前年同期比で四・八%減となり、年間出生数は初めて八十万人を割る見通しとなりました。

農地パトロールをしても耕作者数の不足、高齢化、遊休農地増が目につきました。そのような状況下、二年連続で農水産物の輸出が二兆円を超えてきました。また、台湾からシャインマスカット等の買付報道があり、海外からのアプローチが旺盛であることが分かりました。

最近須高地区で開催されたリンゴの剪定講習会には、三十年以上も作っているベテランの方も参加し、技術向上により良いものを作りたいという意識の高さ、それを後継者に伝える意思が感じられました。

常に向上心を持ち、学びそして伝えていく、その先に光明があると思います。(下田和浩 農業委員)